

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事		2018 (H30) 年 7 月 6 日
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地) 〒624-0906 京都府舞鶴市宇倉谷660		氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 日之出化学工業株式会社 代表取締役社長工場長 秋元 久雄
環境マネジメントシステムの名称		KES ステップ2
適用範囲		日之出化学工業株式会社 本社・舞鶴工場
導入年月日		2012 (H24) 年 8 月 1 日
認証番号		KES2-0622
基本方針		日之出化学工業株式会社本社・舞鶴工場は、磷酸質肥料の製造およびフッ化マグネシウムの製造・販売に係わる全ての活動、製品およびサービスの環境影響を改善するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標 (以下「目標」という。)		(1) エネルギー原単位の向上 (2) 総合排水中の有害物の低減 (3) 産業廃棄物の削減 (4) 品質クレームの低減 (5) 改善提案活動の活性化
目標を達成するための取組の内容		(1) エネルギー原単位の向上 -①平炉燃焼諸条件の最適化 -②水砕の急冷水量・水圧設定の見直し -③大型ファンのインバーター化 (2) 総合排水中の有害物の低減 -①フッ素イオンでの監視方法の確立 -②排ガス洗浄工程の管理強化 -③中和処理工程の管理強化 -④異常発生時の原因究明 (3) 産業廃棄物の削減 -①廃プラスチックの有価物化 -②油漏れ解消による廃油の削減 -③分別強化による有価物の回収 (4) 品質クレームの低減 -①根本的対策となる設備改善の計画 -②シートパレットの材質変更 -③保証成分の確保 (5) 改善提案活動の活性化 コストダウン、工程改善、安全対策、工場美化、環境負荷低減
目標を達成するための取組の進捗状況		(1) -①平炉煙道リーク対策、排ガスモニター活用燃焼管理強化を実施。 (1) -②水圧低減するも、工程不具合が発生し中止。 (1) -③30kWファン3機をインバーター化。 (2) -①管理基準に基づき監視継続。 (2) -②排ガス洗浄ノズル閉塞に対し、迅速に対応した。 (2) -③管理基準に基づき監視継続。 (2) -④汚水漏洩事故を受け、再発防止対策を実施。 (3) -①継続的に実施。 (3) -②機器油漏れ修繕実施。 (3) -③継続的に実施。 (4) -①袋詰め機の整備 (シール機更新) を計画。 (4) -②シートパレット表面処理を変更 (破袋対策)。 (4) -③仕込み原料成分管理強化を継続的に実施。 (5) 社員だけでなく、協力会社にも活動を展開。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価		(1) 目標2016年度比1%向上に対し、実績0.8%悪化で目標未達。原因として、平炉燃焼原料粉砕機の改造を実施した結果、効率悪化となったことが大きい。大型ファンの省エネ化は、一定の効果を得た。 (2) 定期点検時の排ガス洗浄汚泥バキューム回収作業において、操作ミスによる汚水漏洩が発生し、Fイオン濃度が基準値を超えた。対策として漏液防止堰、及び緊急時排水回収装置を設置した。 (3) 目標2016年度比1%削減に対し、実績3.5%削減で目標達成。 (4) クレーム件数は目標2件以下/年に対し、実績0件で目標達成。シートパレット改善効果大。 (5) 目標12件以上/月に対し、年間平均21.3件/月で目標達成。提案活動参加者数も増加した。
事業活動に係る法令の遵守の状況		・公害関係の環境測定結果を3ヶ月ごとに舞鶴市へ報告。 ・2017年4月12日に平炉排ガス洗浄水汚泥のバキューム回収作業中、操作ミスによる汚水漏洩事故が発生し、舞鶴市と京都府に報告。対策処置状況について京都府に現地確認いただいた。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容		(1) エネルギー原単位の向上については、基準年度を2016年度から2017年度に変更し、悪化分を取り戻すべく基準年度比2%向上を目標に設定。 (2) 総合排水中の有害物の低減については、目標未達につき昨年度目標に再チャレンジ。 (3) 産業廃棄物の削減については、基準年度を2016年度から2017年度に変更し、基準年度実績以下を目標に設定。 (4) 品質クレームの低減については、目標を引き続き2件以下/年とした上で、クレーム撲滅を目指す。 (5) 改善提案活動の活性化については、目標件数を12件以上/月から13件以上/月に変更。 以上、主要5項目について取り組む。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。